

# 平成29年 年頭所感

## 夢と希望あふれる 未来に向けたまちづくり



桶川市長  
小野 克典

あけましておめでとございます。  
桶川市長の小野克典でございます。  
市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので、市長に就任して4回目の新年を迎えました。おかげ様で市民の皆様とのお約束であります「桶川を元気にする44の宣言」や「桶川市第五次総合振興計画」に掲げる各施策や事業を着実に進めてくることが出来ました。

## 魅力ある「おけがわ」を めざして



桶川市議会議員  
市川 幸三

市民の皆様、明けましておめでとございます。  
希望に満ちた新春を健やかに迎えたいとお喜び申し上げます。

私は、昨年11月末の前日田喜之議長のご逝去により、12月議会において議員各位からのご推挙をいただき、議長という重責を担うこととなりました。微力ではございますが、議長としてこれまでの歴代議長の皆様が築いてこられました桶川市議会の良き伝統を守りながらも、より時代に合った形に成熟させるこ

昨年は、本市の長年の懸案でありました市役所新庁舎の建設工事がスタートし、平成30年5月の開庁に向け、順調に進んでおります。また、駅東口整備事業においては、地元地権者や関係者の皆様の深いご理解・ご協力のもと、現在用地取得を進めております。あわせて駅東口のエレベーター設置につきまして、関係機関との協議も整い、早期設置に向けた基本設計業務に着手しました。

また、昨年4月には圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の桶川北本I.C.と上尾道路が接続され、交通の利便性が飛躍的に向上しました。更に今年3月に圏央道境古河I.C.をつくば中央I.C.間が開通しますと、神奈川県藤沢I.C.から千葉県の成田空港までが圏央道一本で結ばれ、ますます桶川市の持つ地理的ポテンシャルも高まります。そのような中、昨年7月には、JR桶川駅西口から羽田空港行きの高速バスの運行が開始され、特に早朝便の空港利用が大変便利になりました。

引き続き、地の利を活かした企業誘致や、「仮称」道の駅おけがわ、整備事業等を推進し、雇用の安定と税収確保、定住促進につなげていきたいと考えております。また、戦時中の一群の建物が現存する貴重な戦争遺構として昨年2月に市の文化財

とを旨し、誠心誠意、市政の進展と市民福祉の一層の向上に全力を尽くして、市民に開かれた議会運営に努めてまいります。さて、昨年は、5月にアメリカ合衆国のオバマ大統領が、原子爆弾が投下された広島を現職の大統領として初めて訪問し、核兵器の廃絶を訴えました。

本市は、昭和60年に平和都市宣言をしておりますが、戦後70年を超える歳月が流れており、平和への願いを次世代へ伝えていくことの重要性を改めて強く感じたところであります。さらに、昨年は、4月に熊本地震、10月に鳥取県中部地震、阿蘇山大噴火などの災害が相次いで発生しました。報道では、今後首都直下型地震が30年間に70%の確率で発生する可能性がある

あるといわれております。大きな災害が発生したとき、各自での災害への備えも勿論必要ですが、地域の中でお互いに協力して連携を図ること、地域での助け合い、「共助」が大変重要であります。

市議会といたしましては、皆様の生命・財産を守ることが何よりも大切であるという観点から、生活の安全を確保するための市民総ぐるみの防災体制づくりに、より一層の努力を傾けて

に指定された、「旧熊谷陸軍飛行学校桶川分教場」の保存・活用事業を推進し、平和の拠点・観光や地域交流の場としての整備を進めてまいります。

本年は、市内に11校ある小・中学校の施設老朽化に伴う、大規模改修工事が本格的に始まります。まずは、4年間で集中的に全小・中学校のトイレの先行改修を行う予定です。

また、昨年の朝日小学校の放課後児童クラブの移転新設につき、待機児童の多い桶川西小学校への放課後児童クラブの増設や、妊娠から育児まで、切れ目のない支援を行う「桶川版ネウボラ」事業の実施など、子育て支援事業の充実を図ってまいります。

今年も、職員一丸となり、様々な課題や困難を乗り越えながら、夢と希望あふれる、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

どうか市民の皆様には、今後とも市政運営に対しまして、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。結びに、本年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

まいる所存でございます。  
加えて、急速に進む少子高齢化社会に対応するため、交通の結節点である本市の地の利を生かした企業誘致や道の駅、駅東口の整備などのハード面、地域住民がお互いに協力し、助け合う「共助」の考え方に基づいた見守りや支えあう力、すなわち地域コミュニティの力によるソフト面の拡充を通じて、安心して生活し、子育てができ、高齢になっても住み続けたいと思われ更なる魅力あるまちづくりが求められています。

今後とも、社会情勢の変化を的確に判断し、市民の皆様の声を第一と考え、市政に反映させるべく、引き続き全力で取り組んでまいります。  
今年の干支である「酉」の文字は、果実が成熟した状態や収穫した作物から酒を抽出する意味を表しているとされています。本市も「酉」の文字のように成熟して更なる発展・躍進ができますよう、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。